

## 平成27年度 学校評価（全体）結果

H28.2

今年度も重点項目に沿ってアンケートを実施しました。昨年度に比較して肯定的な評価の割合が職員が増加しているのに対し、保護者は減少し、わからない（もしくは未記入）が増加しています。この結果をもとに今年度の教育活動の問題点・課題点を検討し、次年度の計画に生かしていきたいと思えます。

### 1 回収率

- ・教職員 100% (49 / 49) \* 事務部を除く常勤職員
- ・保護者 88% (46 / 52)
- ・生徒 62% (18 / 29) \* 中学部、高等部の回答可能な生徒

### 2 結果と考察

A（そう思う）とB（ややそう思う）を肯定的評価、C（あまりそう思わない）とD（そう思わない）を否定的評価、E（わからない）は情報不足と捉え考察しました。括弧内は昨年度の結果です。↑↓ は10%以上の増減。

1 東日本大震災について、被災による課題の解決を図り、児童生徒が明るく安心して活動できる学校にしていく。

#### 【職員】

- (1) 被災後の居住環境によるストレスなどに対応した心のケアを行っている  
A+B : 87.7% (70.9%) ↑ C+D : 10.2% (20.0%) E : 2.0% (9.1%)
- (2) 震災後の保護者の経済的負担の軽減や通学などの支援が充分なされている  
A+B : 97.9% (85.5%) ↑ C+D : 2.0% (5.4%) E : 0% (9.1%)
- (3) 児童生徒、保護者の仮設住宅等での生活面の課題について支援している  
A+B : 81.6% (50.9%) ↑ C+D : 12.2% (30.9%) ↓ E : 6.1% (18.2%) ↓

#### 【保護者】

- (1) 学校は震災後の児童生徒の心のケアについて丁寧に対応していますか  
A+B : 73.9% (80.7%) C+D : 6.5% (0%) E : 19.6% (19.3%)
- (2) 学校は被災した保護者の経済的な負担軽減や通学の支援を行っていますか  
A+B : 71.7% (82.5%) ↓ C+D : 13.0% (3.6%) ↑ E : 15.3% (14.0%)
- (3) 学校は震災後の生活面の悩みに対して支援していますか  
A+B : 71.7% (63.2%) C+D : 8.7% (7.1%) E : 19.6% (29.8%) ↓

#### 【生徒】

- (1) 先生は震災後の皆さんの悩みを聴いてくれたり、励ましてくれましたか  
A+B : 41.0% (85.0%) ↓ C+D : 28.0% (0%) ↑ E : 33.0% (15.0%) ↑

#### <考察>

- ・震災から5年目に入り、職員の評価が各項目高くなっているのに対し、保護者は心のケア、経済的な負担軽減や通学の支援に対する対応が低い評価になっています。特に経済的な負担軽減や通学の支援については10%以上減の数値になっています。「通学バスの利用者が限られている」などの声があります。

- ・生徒の肯定的な数値が昨年度から大幅に下がっています。6名の生徒が「分からない」と回答していること、震災時にいた職員が転勤で少なくなっていることや生徒自身も震災のことを思い出したくないのか、もう一度丁寧に生徒の声を聴く必要があります。

・児童生徒の心のケアについて、学校の取り組みが保護者や児童生徒に十分伝わっていなかったり理解されていませんでした。丁寧に説明したり、伝える機会を増やし保護者や児童生徒の気持ちにより添います。

## 2 医療・福祉との連携のもとに、児童生徒個々の教育的ニーズに対応した教育課程を編成する。

### 【職員】

- (4) 児童生徒の実態に即した教育課程の編成ができている  
 A + B : 100% (96.4%)      C + D : 0% (1.8%)      E : 0% (1.8%)
- (5) 「個別の指導計画」が児童生徒の指導に有効に活用されている  
 A + B : 100% (90.9%)      C + D : 0% (9.1%)      E : 0% (0%)
- (6) 行事は児童生徒の教育的ニーズに適した内容であり、成果をあげている。  
 A + B : 100% (98.2%)      C + D : 0% (1.8%)      E : 0% (0%)
- (7) 児童生徒の発達段階に即した適切なキャリア教育や進路指導が行われている  
 A + B : 95.9% (94.6%)      C + D : 2.0% (5.5%)      E : 2.0% (0%)

### 【保護者】

- (4) 学校は個々の児童生徒の教育的ニーズに応じた適切な教育課程を編成していますか  
 A + B : 87.0% (94.7%)      C + D : 8.7% (1.8%)      E : 4.3% (3.5%)
- (5) 学校行事の内容は児童生徒に適切な内容であり、成果をあげていますか  
 A + B : 89.1% (94.8%)      C + D : 4.3% (1.8%)      E : 6.6% (3.5%)
- (6) 学校は児童生徒の進路について、情報を提供し、適切なアドバイスを行っていますか  
 A + B : 78.3% (80.7%)      C + D : 8.7% (3.6%)      E : 13.0% (15.8%)

### 【生徒】

- (2) 学校は楽しいですか  
 A + B : 100% (95%)      C + D : 0% (0%)
- (3) 学校の授業内容は自分に合っていると感じますか  
 A + B : 89% (90%)      C + D : 11% (0%) ↑
- (4) 先生はあなたの進路についていっしょに考えてくれますか  
 A + B : 94% (90%)      C + D : 6% (0%)

### <考察>

- ・職員に関しては、全ての項目で評価が上がっています。3項目が100%でした。
- ・保護者に関しては、昨年度に比べ、すべての項目でやや下がっています。
- ・生徒に関しては、学校が楽しいが100%でしたが、授業内容について11% (2名) が否定的な回答でした。一人一人の生徒が満足する授業内容をさらに工夫する必要があります。

- ・児童生徒一人一人が満足する授業内容をさらに工夫していきます。
- ・保護者が必要としている進路情報の提供に努めます。

### 3 社会の変化への適切な対応を図るとともに、地域社会との連携を強化していく。

#### 【職員】

(8) 他校との交流及び共同学習を積極的に行っている

A + B : 93.8% (94.6%)      C + D : 6.1% (3.6%)      E : 0% (1.8%)

(9) 保護者や福祉等地域の関係者と連携を密にしている

A + B : 100% (96.4%)      C + D : 0% (3.6%)      E : 0% (0%)

(10) 地域における特別支援教育のセンター校としての役割を果たしている

A + B : 100% (98.1%)      C + D : 0% (0%)      E : 0% (1.8%)

(11) PC等の情報機器を教育の充実に役立てており、個人情報の保護にも留意している

A + B : 98.0% (94.5%)      C + D : 0% (1.8%)      E : 2.0% (3.6%)

#### 【保護者】

(7) 学校は他校との交流や保護者や地域との連携に努めており、開かれた学校と感じますか

A + B : 82.6% (89.5%)      C + D : 8.7% (0%)      E : 8.7% (10.5%)

(8) 学校は地域の特別支援教育センター校として、他校や保護者の支援や相談に応じていますか

A + B : 71.7% (73.7%)      C + D : 10.9% (3.5%)      E : 17.4% (22.8%)

(9) 学校は児童生徒や保護者のプライバシーに十分配慮していますか

A + B : 82.6% (94.7%) ↓      C + D : 8.7% (0%)      E : 8.7% (5.3%)

#### 【生徒】

(5) 他校との交流や地域の行事に参加するのは楽しいですか

A + B : 83% (75%)      C + D : 17% (20%)

#### <考察>

- ・ここでも職員の評価が高くなっているのに対し保護者が低めの評価になっています。特に児童生徒や保護者のプライバシーへの配慮について10%以上低くなっており、一層の配慮が必要です。
- ・生徒に関しては、交流や行事への参加が昨年度に比べ上昇しています。自由記述欄にも「楽しかった」の記述が有ります。今後も積極的に取り組んでいきます。

- ・児童生徒や保護者のプライバシーへの配慮について今後も一層の配慮をしていきます。
- ・交流や行事について、今後も積極的に取り組んでいきます。

#### 4 教職員の指導力・専門性の向上に努め、教育活動の充実を図る。

##### 【職員】

(12) 校内研究や各種研修会参加に積極的に取り組み、指導力・専門性の向上を図っている

A + B : 100% (96.3%)      C + D : 0% (3.6%)      E : 0% (0%)

##### 【生徒】

(6) 授業で先生は、分かりやすく教えてくれますか

A + B : 94% (90%)      C + D : 6% (5%)

##### <考察>

・職員に関しては、校内研修、研究の充実により 100%の高い評価を得ています。

・生徒からも、高い評価が出されています。

今後とも職員は専門性の向上に努め、分かりやすい授業を目指します。

・今後とも職員は専門性の向上に努め、分かりやすい授業を目指します。

#### 5 教育環境の整備及び健康・安全教育の推進に努める。学校課題への取り組み。

##### 【職員】

(13) 校内の安全点検や改善など教育活動全般に事故が起きないように配慮されている

A + B : 100% (94.6%)      C + D : 0% (5.4%)      E : 0% (0%)

(14) 火災や震災、不審者の侵入等への対応など安全教育や防災教育を行っている

A + B : 100% (96.4%)      C + D : 0% (1.8%)      E : 0% (1.8%)

(15) 2校舎制は円滑に行われている

A + B : 91.8% (81.8%) ↑      C + D : 6.1% (14.5%)      E : 2.0% (3.6%)

(16) 児童生徒の食育に関心を持ち、情報提供や指導を行っている。

A + B : 95.9% (87.3%)      C + D : 4.1% (10.9%)      E : 2.0% (1.8%)

(17) 将来の本校の在り方を見通して、学校課題の解決に向けた取り組みが行われている

A + B : 93.9% (85.4%)      C + D : 4.1% (12.7%)      E : 2.0% (1.8%)

##### 【保護者】

(10) 学校は児童生徒の安全面で良く配慮していますか

A + B : 93.5% (100%)      C + D : 0% (0%)      E : 6.5% (0%)

(11) 学校給食に満足していますか

A + B : 82.6% (87.7%)      C + D : 2.2% (5.3%)      E : 15.2% (7%)

(12) 学校は児童生徒の食育に関する情報提供や指導を行っていますか

A + B : 82.6% (91.2%)      C + D : 2.2% (0%)      E : 15.2% (8.8%)

(13) 学校は通学や高等部移設等の課題を改善しようと取り組んでいますか

A + B : 76.1% (77.2%)      C + D : 8.7% (8.8%)      E : 15.2% (14.0%)

## 【生徒】

(7) 学校には読みたい本や学習に必要な道具がそろっていますか

A+B : 89% (90%)      C+D : 11% (0%) ↑

(8) 学校は災害に備えた避難訓練にしっかり取り組んでいますか

A+B : 100% (85%) ↑      C+D : 5% (5%)      E : 0% (10%) ↓

(9) 学校の中にあなたにとってあぶないところはないですか

A+B : 94% (90%)      C+D : 0% (5%)      E : 6% (5%)

(10) 本校と高等部が離れていても不都合(困ったこと)はありませんか。

A+B : 50% (80%) ↓      C+D : 39% (10%) ↑      E : 11% (10%)

(11) 学校給食に満足していますか

A+B : 67% (85%) ↓      C+D : 22% (5%) ↑      E : 6% (10%)

### <考察>

- ・職員の評価に比べ保護者の評価が低くなっています。特に保護者の評価では「分からない」の回答が増えています。
- ・職員で100%になっている安全面への配慮については生徒の評価でも100%になっています。
- ・保護者は通学や高等部移設への課題可決について、肯定的な回答が76.1%と低い評価になっています。
- ・生徒に関しては、高等部の移設したことへの不都合感がないと回答した生徒が半数と低くなっています。また、給食についての満足度も昨年より低い評価になっています。

- ・安全面への配慮は今後も第一に考え、安心・安全な学校づくりをします。
- ・高等部を移設した事の不都合を具体的に整理し、その解決に努めます。

### <自由記述欄の意見>

- ・保護者からは、通学バス、施設設備等の教育環境についての意見がありました。
- ・生徒からは更衣室や学年毎の教室が欲しいという日常の学校生活に対する意見がありました。

## 【まとめ】

A+B(肯定的評価)の今年度、昨年度の評価を比較すると

<教職員> 平均で96.3%(88.9%)の肯定的評価で全般的に上がっています。

<保護者> 平均で80.3%(85.4%)の肯定的評価で全般的に下がっています。

<生徒> 昨年度は100%の肯定的評価項目がありませんでしたが、今年度は2項目ありました。平均では82.0%(87.0%)の肯定的評価で、全般的に下がっています。

- ・教職員と保護者、児童生徒の肯定的評価の差が10%以上あります。謙虚に受け止め、保護者や児童生徒のニーズに応じていきます。